

連携講座 ③－1 【聖路加国際大学】

定員 30 名

◆見つけよう！自分に合った健康法
～骨・筋肉のこと～

主 題 良いとはわかっている健康法でも、実際に続けるのは難しいもの。細胞レベルから骨や筋肉について学び、ご自身のからだを知ること、ひとりひとりにあった健康法をご自身で見つけてみませんか。いつまでも健康を維持し、自分の意思と判断で長い人生を歩んでいくためのノウハウを見つけ出すことを目的とした講座です。

【第2回、第3回について】

・動きやすい服装・靴でお越しください。

【第4回について】

・肘、膝まで肌を出せるような服装でお越しください。

※更衣室はありません。

【第5回について】

・講座の中でグループワークを行う予定です。

講座番号 ③－1

時 間：午後6時～7時30分

場 所：聖路加国際大学
大村進・美枝子記念聖路加
臨床学術センター

回 数：5回

受講料：1,500 円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/17（水）	細胞から骨と筋肉を知ろう	小林 由紀恵
第2回	10/ 1（水）	体力を測ろう	前田 洋平
第3回	10/15（水）	体を動かしてみよう	
第4回	10/29（水）	体を整えよう	高山 美歩
第5回	11/12（水）	自分に合った健康法を考えよう	射場 典子

講師紹介

小林 由紀恵（こばやし ゆきえ）

聖路加国際大学大学院看護学研究科ニューロサイエンス看護学助教。新潟大学医学部保健学科卒業後、急性期病院で脳神経疾患をもつ人と家族の看護に携わってきた。2024 年から現職に就き、現在は脳卒中発症後、重度意識障害をもつ人々に対して、覚醒を促し、失われた生活行動を取り戻すための看護の実践および研究に取り組んでいる。

前田 洋平（まえだ ようへい）

聖路加国際病院リハビリテーション科所属、理学療法士。2001 年広島大学医学部保健学科卒業後、2008 年より聖路加国際病院勤務。主に脳血管疾患、運動器疾患、糖尿病患者への運動指導などを担当。また 2010 年からは中央区内での訪問リハビリテーションにも従事。現在は地域包括ケア病院で在宅復帰に向けたリハビリに取り組んでいる。

高山 美歩（たかやま みほ）

東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科 准教授。医学博士。はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師・看護師・保健師。病院・クリニック看護師、鍼灸専門学校教員を経て、2009 年より大学勤務。鍼灸の効果に関する研究を行う傍ら、東京有明医療大学附属鍼灸センターで鍼灸治療にあたっている。

射場 典子（いば のりこ）

聖路加国際大学大学院看護学研究科 PCC 開発・地域連携室／看護情報学 准教授。地域で暮らす人々が主体的に自分の健康を創り守り、自分らしくいきいきと暮らせるよう、ピープル・センタード・ケア（市民が主体となるケア）の教育や実践、大学と中央区の地域連携の推進を行っている。聖路加健康ナビスポット「るかなび」の非常勤看護師を経て 2022 年より現職。中央区民。

会場図



中央区築地3-6-2

※例年と会場が異なりますのでご注意ください。

◆朝日新聞記者が岐路の時代を読み解く

主 題 いま世界は不安定さを増しています。民主政治は持続可能なのか。戦争は制御できないのか。誰もが生きやすい社会にしていけるのか。そんな自問自答を重ねている方も多いと思います。今回の連続講座は国内政治、国際政治、社会保障、安全保障、文化の各分野から、論説主幹を含む5人の論説委員が登壇します。岐路の時代を読み解くヒントをみつけていただければ幸いです。

講座番号 ③－2

時 間：午後4時30分～6時

場 所：朝日新聞東京本社
2階読者ホール

回 数：5回

受講料：1,500円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	9/18 (木)	参議院選挙後の政局を読み解く	佐藤 徳仁
第2回	9/24 (水)	トランプ2.0 米国と世界	沢村 亙
第3回	10/ 8 (水)	年金問題 政治とくらしの間	浜田 陽太郎
第4回	10/16 (木)	安全保障 現在地と今後の選択肢	佐藤 武嗣
第5回	10/22 (水)	フジテレビ問題から考える メディアとジェンダー	高重 治香

講 師 紹 介

佐藤 徳仁 (さとう のりひと)

朝日新聞社論説委員（政治担当）。秋田魁新報社を経て、2001年入社。長野総局、西部報道センター（福岡）、東京社会部、天声人語補佐、政治部、コンテンツ編成本部などに所属。政治部では首相官邸を中心に、与党、野党の各キャップやデスクを務めた。

沢村 亙 (さわむら わたる)

朝日新聞社論説委員（国際担当）。コラム「日曜に想う」執筆者。1986年入社。ニューヨーク、ロンドン、パリで特派員として勤務後、2008年から国際報道エディター、2011年からヨーロッパ総局長を歴任。2017～21年、アメリカ総局長（ワシントン）としてトランプ政権、アメリカ大統領選を取材。2022年10月～25年3月まで論説主幹代理を務めた。

浜田 陽太郎 (はまだ ようたろう)

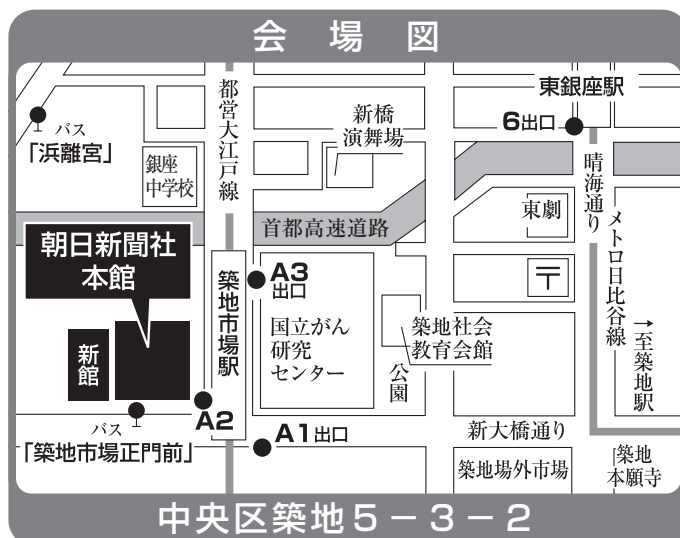
朝日新聞社論説委員（社会保障担当）。1990年入社。初任地の宮城県で農家に泊まり込んで書いた連載記事で「93年度農業ジャーナリスト賞」をいただいたのが唯一の社外受賞歴。コロナ禍の最中、「自己充実休職制度」を利用して1年間、大分県の社会医療法人関東会会で無給の研修生として過ごした。その時の体験をベースに連載記事「55歳の『逃げ恥』体験」を書いた。著書に『「高齢ニッポン」をどう捉えるか』（勁草書房、2020年）。

佐藤 武嗣 (さとう たけつぐ)

朝日新聞社論説主幹。1993年入社。横浜・青森支局、世論調査室を経て、政治部で官邸キャップや政治部次長を経験。米ジョージタウン大、米国防大にそれぞれ留学し、客員研究員。2015年からワシントン特派員としてホワイトハウスと国防総省を担当し大統領選を取材。17年9月から編集委員として外交・安全保障を担当。25年4月から現職。東京大客員教授などを経て、一橋大非常勤講師を兼務。東京工業大理学部数学科卒。

高重 治香 (たかしげ はるか)

朝日新聞社論説委員（文化担当）。2004年に入社。大分、群馬で勤務後、東京本社へ。文化部、経済部、オピニオン編集部などで記事を書いてきた。ジェンダー問題に関心がある。24年より現職。テレビ局、芸能界、書店、世界遺産、偽・誤情報……など、文化や表現に関わる社説を書いている。子育て中で、教育・保育にも関心がある。元中央区民。



連携講座 ③－3 【小津和紙】

定員 15 名

◆ 蔦屋重三郎と小津清左衛門長保
～同時代を生きた男たちのビジネス～

主 題 今年で創業 372 年になる小津和紙は承応二年（1653 年）の創業以来、日本橋の同じ場所で商いを続けています。七代目小津清左衛門長保が当主であった頃、蔦屋重三郎は小津清左衛門店のある奥州日光街道（現・大伝馬本町通り）沿いの日本橋通油町に地本問屋「耕書堂」を出店進出しました。

江戸のメディア王とも言われる蔦屋重三郎と、その媒体となる和紙を商いの中心としてきた小津清左衛門、同時代を生きた二人は何を成し得、また何を成し得なかったのか。

第 1 回目の講座では江戸文化研究家の先生をお招きし、蔦屋重三郎と小津清左衛門長保、二人の生きざまに焦点を当て、小津の所有する史料を見ながら楽しく分かりやすくお話して頂きます。また第 2 回目は江戸時代と変わらぬ「流し漉き」と呼ばれる製紙技法で紙漉き体験を行います。

講座番号 ③－3

時 間：午後2時～4時

場 所：日本橋小津和紙

回 数：2回

受講料：600円

教材費：800円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/19（金）	蔦屋重三郎と小津清左衛門長保 / 小津史料館見学	菅野 俊輔
第2回	10/ 3（金）	紙漉き体験と小津和紙照覧他、館内案内	田中 奈緒

講 師 紹 介

菅野 俊輔（かんの しゅんすけ）

古文書講座講師・江戸文化研究家。1972 年早稲田大学政経学部卒業。小津文化教室をはじめ、早稲田大学エクステンションセンター八丁堀校、朝日カルチャーセンター、毎日文化センター、読売・日本テレビ文化センターなどで講師を勤めながら、講演・著述・テレビ出演など幅広く活動中。主な著書に『江戸・戦国の古文書くずし字入門』（芙蓉社新書）、『江戸の長者番付』（青春新書）、『なぞり書きで覚える江戸のくずし字入門』（芙蓉社）など多数。

田中 奈緒（たなか なお）

小津和紙手漉き和紙体験工房担当。美濃手すき和紙基礎スクール終了後、渡独。帰国後、細川紙たかの工房に所属。駿河柚野和紙、阿波和紙、小原和紙にて研修。2015 年（株）小津商店入社。



紙漉き体験の様子





◆歌舞伎ものしり講座

主 題 歌舞伎は江戸時代の日本人が創り出したエンターテインメントの最高傑作と言えるでしょう。そこには優れた色彩感覚や音楽、言葉の遊びが溢れ、綿密に練り上げられたストーリーは自由奔放に展開し、時には奇想天外な楽しさで観客を魅了します。その主役はなんといっても、舞台上で華やかなオーラを放つ歌舞伎俳優たち。時代を超えて、脈々と受け継がれてきた芸は、観客からパワーを得てますます輝き出す…、だから歌舞伎は面白い！

※初めて受講される方が優先されます。

※第1回～5回のうち1回にゲストをお招きする予定です。

※ゲストの都合等により、講座内容が入れ替わる場合がありますのでご了承ください。

講座番号 ③ー4

時 間：午後2時30分～4時

※第4回は講義後、各自歌舞伎座へ移動して午後9時頃（予定）まで観劇

場 所：築地社会教育会館

※第4回は講義後、歌舞伎座

回 数：5回

受講料：2,500円

観劇料：14,000～15,000円

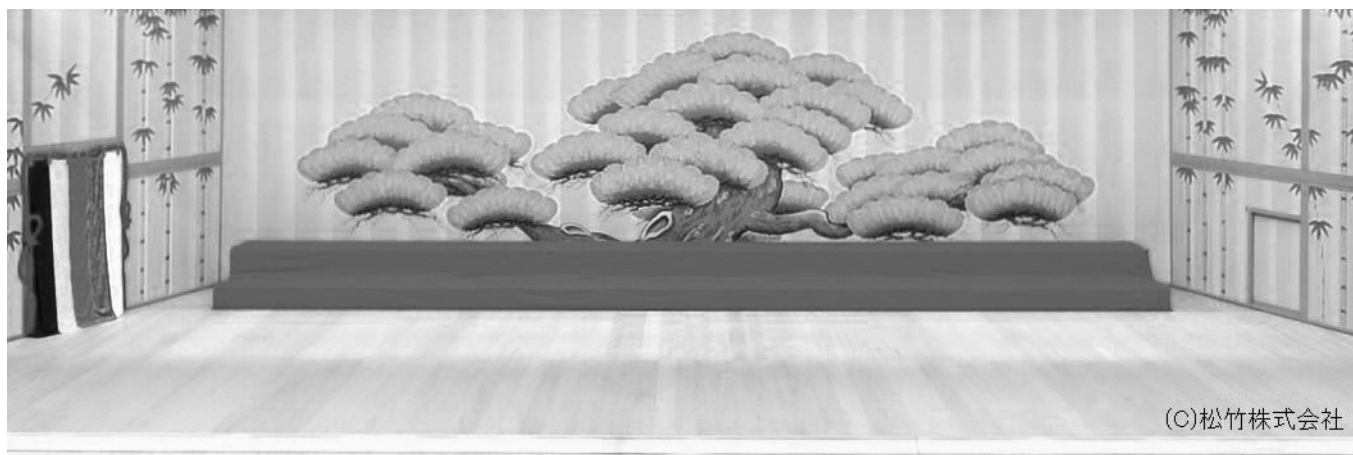
回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/24（水）	歌舞伎演目深掘り	金田 栄一
第2回	10/15（水）	家の芸	
第3回	10/29（水）	芝居小屋と顔見世	
第4回	11/19（水）	観劇の手引き	
第5回	12/10（水）	江戸の雑学	

講師紹介

金田 栄一（かねだ えいいち）



歌舞伎座舞台(株)顧問。大学在学中は歌舞伎研究会に所属し、1971年立教大学卒業後、松竹(株)入社。歌舞伎座宣伝課長、副支配人、支配人、演劇本部ゼネラルマネージャーを経て、2005年5月から(株)伝統文化放送代表取締役社長就任。2008年から歌舞伎座舞台(株)代表取締役社長、2012年から現職。2020年「令和二年度文化庁長官表彰」受賞。



(C)松竹株式会社

連携講座 ③ー5 【東京水産振興会 豊海おさかなミュージアム】

定員 20 名

◆さかなパワーでおいしく・豊かに・健康に！

主 題 中央区は古くから「さかな」との関わりが深く、現在も新鮮な魚や水産加工品が入手しやすい魅力的な街です。この講座では、特に水産業の視点から旬の魚の特徴や抱える課題等をお伝えし、「魚の知らなかった食としての魅力」を発見したいと思っています。

毎回、「話題に取り上げた魚を主菜とした健康的な一食」を調理します。共食しながら、魚をより身近な存在として捉えられるように、おいしく楽しく学びあいましょう！

【持ち物】筆記用具、上靴、エプロン、三角巾

※前年度講座と一部内容が重なります。※食物アレルギーのある方は受講決定時にお知らせください。

講座番号 ③ー5

時 間：午前10時～午後1時

場 所：豊海おさかなミュージアム

回 数：3回

受講料：900円

材料費：1,800円(昼食代3回分)

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	9/26 (金)	講話：知っている？「さかな」と深くつながる中央区のヒミツ 実習：つぼ抜きアジで主菜づくりにチャレンジ！	栗原 修 高橋 千恵子 松本 尚子
第2回	10/24 (金)	講話：今こそ、イワシを食べましょう！ 実習：包丁を使わない！マイワシの手開きで主菜作り	
第3回	11/28 (金)	講話：旬のさかな、ブリの探検！ 実習：ブリ料理を主菜にした、冬らしい1食づくり	

講師紹介

栗原 修 (くりはら しゅう)

一般財団法人東京水産振興会振興部副参与。1999年(財)東京水産振興会就職。冊子「水産振興」の発行や教材映像の制作、水産に関する調査研究事業の実施、豊海おさかなミュージアムの運営等の水産振興事業を担当。2021年より現職。「さかな丸ごと食育」養成講師。

高橋 千恵子 (たかはし ちえこ)

食の専門家を支援する「NPO 法人食生態学実践フォーラム」理事。管理栄養士。「さかな丸ごと食育」専門講師。一般財団法人東京水産振興会客員講師として「豊海おさかなミュージアム」食育セミナーの企画・実施・評価に携わっている。

松本 尚子 (まつもと なおこ)

一般財団法人東京水産振興会振興部主任。管理栄養士の資格を取得後、食品メーカーの開発職、保育園の栄養士職を経て、2020年に東京水産振興会に就職。同会では、管理栄養士、「さかな丸ごと食育」養成講師として、「豊海おさかなミュージアム」食育セミナーを始めとした食育事業に携わっている。

一般財団法人 東京水産振興会とは

水産振興事業への取組みと水産基地の運営を通じて、水産業の発展と国民生活の向上に寄与することを目的として1957年に設立。東京都民に新鮮な水産物を円滑に供給する構想のもと、東京都から現在の豊海町全域の埋立免許を受け、水産基地を造成。1962年に豊海水産基地が完成して以来、基地の管理運営事業及び水産振興事業を実施。2000年代以降は「さかな」をテーマとした食育事業を開始し、NPO法人食生態学実践フォーラムと連携して「さかな丸ごと食育」を全国的に展開。2012年に魚や水産に関する情報発信施設「豊海おさかなミュージアム」を豊海センタービル2階に開設し、特別展示や食育セミナー等を開催している。



会場図



中央区豊海町5-1
豊海センタービル2階 ☎3533-8111

◆人と食とが出会う場所～築地場外市場

主 題 築地場外市場は、昭和のはじめよりプロの買い出し人で賑わう「食の台所」として親しまれてきました。中央卸売市場が豊洲へ移転した現在でも、鮮魚・青果・精肉・調理道具、さらには飲食店などおよそ 400 の店が営業をしております。最近では、中央区にお住まいの方を中心に、日々の買い物の場として利用されるようになり、幅広いニーズに対応できる市場として賑わっています。

築地場外市場の店舗が加入している NPO 築地食のまちづくり協議会では、築地から食の情報を発信することを目的に、2016 年 5 月より「築技セミナー」と題し、さまざまな学びを一般の方向けに開催しています。

この講座では、身近な食材をテーマに 3 回にわたってご紹介致します。専門家ならではの知識と、日常でも使える食材の扱い方のコツを、わかりやすくご紹介いたします。

※食品アレルギーのある方は、受講決定時にお知らせください。

【持ち物】第 3 回のみ、鰹節削り器をお持ちの方は刃を調整いたしますので、ご持参ください。

講座番号 ③－6

時 間：午前 10 時～正午

場 所：食まちスタジオ

回 数：3 回

受講料：900 円

材料費：3,000 円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第 1 回	10/ 1 (水)	豆のおはなしと小豆を味わう	石川 秀樹
第 2 回	10/22 (水)	築地場外市場と水産仲卸～魚の扱い方と簡単レシピ～	門井 直也
第 3 回	11/12 (水)	料理に合う鰹節の選び方と鰹節の歴史	秋山 久美子

講 師 紹 介

石川 秀樹（いしかわ ひでき）

三栄商会（さんえいしょうかい）社長。三栄商会は創業昭和 23 年の豆・雑穀の専門店。全ての豆を手で選り、割れや欠けを丁寧に選別し販売。北海道産の小豆、大豆、大正金時から、とら豆、ひよこ豆、レンズ豆など珍しい品種も多く扱う。豆の扱い方やレシピも多数紹介。生産者を招いたセミナーや料理教室も開催している。

門井 直也（かどい なおや）

築地魚河岸 京富（つきじうおがし きょうとみ）五代目社長。京富は日本橋時代から続く魚の仲卸。お客様目線での品揃えと目利き力が評判。五代目は和食の料理人の経験もあり、魚の捌き方や保存方法などが学べる講座「はじめての魚のさばき方」は、初心者でもわかりやすいと人気。2017 年に築地場外市場にオープンした「築地魚河岸」の事業部長も務めている。

秋山 久美子（あきやま くみこ）

秋山商店（あきやましょうてん）社長。秋山商店は創業大正 5 年の削り節一筋の店です。香り高い削りたてを提供し、料亭をはじめ多くの料理人から厚い信頼を得ています。店頭に並び削り節の種類は 10 種以上。鰹節の出汁のとり方はもちろん、鰹節の歴史や料理における役割を伝えることにも取り組んでいます。



◆日本経済の実像と未来への道筋

主 題 「失われた 30 年」と言われる日本経済。しかし、その中でも希望の芽はあります。私たちの給料はなぜ上がらないのか？なぜスマホや PC は海外製が多いのか？隣国の経済成長に比べ、日本はなぜ取り残されているのか？本講座では、脱炭素、国際貿易、観光など、私たちの生活に直結するテーマから、データに基づいた分析によって日本経済の今を理解し、未来への道筋を探ります。それはマスメディアの表面的な報道とは大きく異なるでしょう。慶應義塾大学産業研究所の研究者が、専門知識をわかりやすく解説し、日本経済が抱える課題と可能性について、皆さんと一緒に考えます。

講座番号 ③ー7

時 間：午後 6 時 30 分～8 時
場 所：築地社会教育会館
回 数：5 回
受講料：1,500 円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第 1 回	10/ 2 (木)	脱炭素政策は経済成長を促すか (キーワード：エネルギー環境、グリーン需要、産業空洞化)	野村 浩二
第 2 回	10/ 9 (木)	トランプ関税は何が問題か (キーワード：トランプ 2.0、関税、貿易収支)	清田 耕造
第 3 回	10/16 (木)	インバウンドツーリズム拡大の光と影 (キーワード：経済効果、オーバーツーリズム)	松浦 寿幸
第 4 回	10/23 (木)	対日直接投資の現状と課題 (キーワード：対日直接投資、外資系企業)	清田 耕造
第 5 回	10/30 (木)	創造する未来の経済社会 (キーワード：Society 5.0、生産性、アジア経済)	野村 浩二

講 師 紹 介

野村 浩二 (のむら こうじ)

慶應義塾大学産業研究所 教授。1993 年慶應義塾大学商学部卒業、商学研究科修士課程修了・博士課程単位取得退学。博士（商学）。1996 年慶應義塾大学産業研究所助手、2003 年同准教授、2017 年より教授。この間、ハーバード大学ケネディスクール CBG フェロー、OECD エコノミスト、国際機関アジア生産性機構 PDB プロジェクトマネージャー、日本政策投資銀行設備投資研究所客員主任研究員、内閣府経済社会総合研究所客員主任研究官、国連経済社会局コンサルタント、経団連 21 世紀政策研究所研究主幹等を歴任。著書に『日本の経済成長とエネルギー：経済と環境の両立はいかに可能か』（慶應義塾大学出版会 2021 年）、Energy Productivity and Economic Growth (Springer 2023)、Hydropower-Led Economic Growth in Bhutan: (Springer 2025) 等。

清田 耕造 (きよた こうぞう)

慶應義塾大学産業研究所 教授。1996 年慶應義塾大学経済学部卒業、経済学研究科修士課程修了・博士課程単位取得退学。博士（経済学）。2001 年横浜国立大学経営学部講師、同助教授、准教授を経て、2013 年より現職。人事院国家公務員採用総合職試験（行政、経済）試験専門委員、経済産業省産業構造審議会製造産業分科会委員、日本証券アナリスト協会試験委員会委員、東京大学エコノミックコンサルティング株式会社アドバイザー等を兼任。Journal of International Economics, Journal of Public Economics などの国際的な学術誌に論文多数。著書に『拡大する直接投資と日本企業』（NTT 出版 2015 年）等。

松浦 寿幸 (まつうら としゆき)

慶應義塾大学産業研究所 教授。1998 年慶應義塾大学総合政策学部卒業、商学研究科修士課程修了・博士課程単位取得退学。博士（商学）。2003 年独立行政法人経済産業研究所研究スタッフ・研究員、一橋大学経済研究所講師を経て、2009 年より慶應義塾大学産業研究所講師。2014 年より准教授、2023 年より現職。財務省財務総合研究所客員研究員、経済産業研究所ファカルティフェロー等を歴任。主要業績に "Margins, concentration, and the performance of firms in international trade: Evidence from Japanese customs data," Journal of the Japanese and International Economies, 2025, 75, 101340, "The COVID-19 pandemic and domestic travel subsidies," Annals of Tourism Research, 2022, 92, 103326 等。

◆環境について多面的に学ぶ ～個人で取り組める行動や習慣～

主 題 近畿大学は多様な学部・学科を持ち、社会貢献や次世代人材の育成に取り組んでおり、その一環として、SDGs 達成に向けた支援を行っています。産業理工学部では、学生や教職員の SDGs に対する認知度を向上させ、学習の機会を増やすことを念頭におき、2025 年度から学部で開講されるすべての科目と SDGs の関連性を公開する取り組みを進めています。

本講座では、「環境」について幅広く、それぞれの専門家である生物環境化学科（第 1 回）、経営ビジネス学科（第 2 回）、建築・デザイン学科（第 3 回）の教員が解説します。本学部の特長である文理融合の学びを是非ご体験ください。

講座番号 ③－8

時 間：午後 2 時～3 時 30 分

場 所：近畿大学東京センター会議室

回 数：3 回

受講料：900 円

回数	日 程	講 義 内 容	講 師 名
第 1 回	10/ 4（土）	「腸内環境から考える“未来の健康づくり”」	北野 隆司
第 2 回	10/18（土）	「カーボンニュートラルに向けた家庭部門の役割と限界」	高敷 広隆
第 3 回	11/ 1（土）	「環境に配慮したたてものづくり・まちづくり」	依田 浩敏

講 師 紹 介

北野 隆司（きたの りゅうじ）

近畿大学産業理工学部生物環境化学科准教授／京都大学農学部卒業、博士（農学）。専門分野は栄養代謝学。生理活性を示す有効な食品成分の探索や、腸内細菌由来代謝産物を介したエネルギー代謝恒常性の制御機構と、その破綻メカニズムに関する研究を行っています。本講義では「食と腸内環境の科学」をテーマに、腸内細菌と食事の相互作用を通じた健康維持の仕組みや、機能性食品の活用による生活習慣病予防のポイントを紹介します。

高敷 広隆（たかやぶ ひろたか）

近畿大学産業理工学部経営ビジネス学科講師／九州大学経済学部卒業、博士（経済学）。専門分野は環境経済学。様々な環境問題（気候変動、エネルギー、大気汚染、廃棄物等）について、国・自治体・産業・企業単位のデータを用いた研究を行っています。本講義では、国際的に掲げられている目標である 2050 年カーボンニュートラルに対する取り組みと、私たち家庭部門にできること・その限界について紹介します。

依田 浩敏（よだ ひろとし）

近畿大学産業理工学部学部長、建築・デザイン学科教授／早稲田大学理工学部卒業、工学博士、一級建築士、うちエコ診断士、環境省認定環境カウンセラー（市民部門）。専門分野は建築都市環境工学。現状の環境を改善するために「環境にやさしい」「人にやさしい」建物づくりや街づくりを進めています。本講義では、脱炭素社会を構築するための建物づくりや街づくりについて、事例を交えて紹介します。

会 場 図



中央区八重洲 1-8-16
新槇町ビル 13 階 ☎ 3274-1105

◆銀座の本願寺で学ぶ

主 題 築地本願寺は、浄土真宗本願寺派（西本願寺）の直轄寺院です。お寺がありますのは中央区築地ですが、「築地」とは元々佃島に住む浄土真宗のご門徒（信者）が、幕府から下付された海上を寺院が建つように海を埋め立て、土地を築いたことに由来します。築地本願寺には、いまでも多くの方々が参拝されますが、より多くの方々とのご縁を結ぶため、2016年5月より銀座2丁目に「築地本願寺GINZA SALON」を開所いたしました。

この講座では、そのSALONで好評をいただいております講師の方々から、仏教的なおはなしや仏画の鑑賞方法まで、幅広いテーマでお話をさせていただきます。

どのような宗派の方のご参加も歓迎いたします。法事やお墓のことだけではない、さまざまなお寺の取り組みについて、知っていただければ幸いです。

講座番号 ③－9

時 間：午後2時～3時30分

場 所：築地本願寺 GINZA SALON

回 数：3回

受講料：900円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	10/ 6 (月)	こころ・身体・いのちに効く漢方	平地 治美
第2回	10/27 (月)	親鸞に学ぶ	南條 了瑛
第3回	11/17 (月)	絵伝に見る聖徳太子の生涯	土屋 貴裕

講師紹介

平地 治美 (ひらぢ はるみ)

薬剤師、鍼灸師。和光鍼灸治療院・漢方薬局代表。日々の臨床の他、母校である東洋鍼灸専門学校、日本医学柔整鍼灸専門学校などで非常勤講師として、またカルチャーセンターなどで漢方関連講座を担当し漢方教育、普及活動に携わる。日本東洋医学会代議員。著書に『舌を見る・動かす・食べるで健康になる』『さわれば分かる腹診入門』（ともに日貿出版）、『げきポカ』（ダイヤモンド社）ほか。

南條 了瑛 (なんじょう りょうえい)

武蔵野大学仏教文化研究所客員研究員、浄土真宗本願寺派法重寺（東京都中央区）住職。博士（文学）。現在、京都女子大学、武蔵野大学などでも仏教・浄土真宗の講義を担当している。築地本願寺新報にて「英語で歎異抄」を連載中。

土屋 貴裕 (つちや たかひろ)

東京国立博物館絵画・彫刻室長。「国宝 鳥獣戯画のすべて」（2021年）、「やまと絵―受け継がれる王朝の美―」（2023年）等の特別展を担当。著書に『セクション 絵巻』（東京国立博物館、2022年）、『もっと知りたいやまと絵』（東京美術、2023年）、『東京国立博物館所蔵近世やまと絵 50選』（共著、吉川弘文館、2023年）、『もっと知りたい国宝』（編著、東京美術、2025年）など。

会場図



会場建物の入口は、ガス灯通りに面しています。

中央区銀座2－6－4
竹中銀座ビルディング5階

連携講座 ③－10 【三井記念美術館】 定員 50 名

◆ 展覧会を観る

主 題 三井記念美術館が開催する 2025 年度後半の展覧会にあわせ、担当学芸員がそれぞれ専門の立場から講義を行います。

2 時間のうち 1 時間が講義、あとの 1 時間が展覧会の自由見学です。

講座番号 ③－10

時 間：午後 2 時～4 時
場 所：三井記念美術館
回 数：3 回
受講料：900 円
入館料：2,800 円（3 回分）

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第 1 回	10/ 7 (火)	開館 20 周年特別展 「円山応挙 一革新者から巨匠へ」	藤原 幹大
第 2 回	12/16 (火)	国宝 熊野御幸記と藤原定家の書	清水 実
第 3 回	2/24 (火)	開館 20 周年特別展 「生誕 1200 年 歌仙 在原業平と伊勢物語」	藤原 幹大

講 師 紹 介

清水 実（しみず みのる）

三井記念美術館 参事・学芸部長。國學院大學史学科日本史専攻卒業。1975 年 4 月久能山東照宮博物館学芸員。1984 年 9 月三井文庫別館学芸員、2005 年 8 月三井記念美術館学芸課長、現在に至る。専門は日本文化史（主に宗教美術・茶道美術）。

藤原 幹大（ふじわら かんた）

三井記念美術館学芸員。名古屋大学大学院文学研究科博士課程後期課程単位取得退学。専門は日本絵画史。

展覧会スケジュール

2025 年 9 月 26 日（金）～ 11 月 24 日（月・祝）
開館 20 周年特別展「円山応挙 一革新者から巨匠へ」

近年、同時代を生きた伊藤若冲、曾我蕭白ら“奇想の画家”たちの人気に押され気味の円山応挙。
しかしじつは、応挙こそが、18 世紀京都画壇の革新者でした。写生に基づく応挙の絵は、当時の鑑賞者にとって、それまで見たこともないヴァーチャル・リアリティーのように、眼前に迫ってきたのです。
その画風は瞬く間に京都画壇を席卷、多くの弟子が応挙を慕い、巨匠として円山四条派を形成しました。
本展では、応挙が「革新者」から「巨匠」になっていくさまを、重要な作品を通してご覧いただけます。

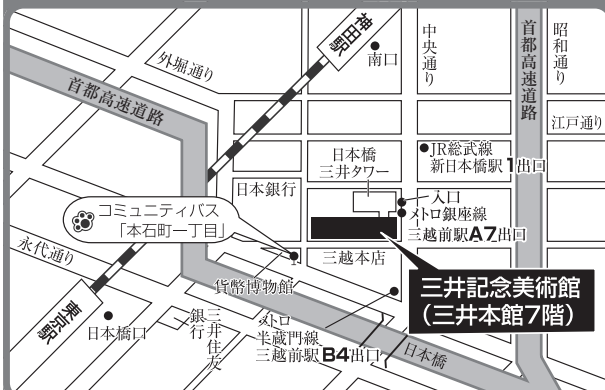
2025 年 12 月 6 日（金）～ 2026 年 2 月 1 日（日）
「国宝 熊野御幸記と藤原定家の書」

鎌倉時代・建仁元年（1201 年）に藤原定家が後鳥羽上皇の熊野参詣に随行した際の自筆の記録「熊野御幸記」を全巻展示いたします。
あわせて「大嘗会巻」や「小倉色紙」「歌切」など館蔵の藤原定家の書を展示いたします。
また、近世に小堀遠州などが定家の書を好み、茶道具の銘を和歌から取り、小色紙や箱書を定家様で書いていますが、それらの茶道具も展示いたします。

2026 年 2 月 21 日（土）～ 4 月 5 日（日）
開館 20 周年特別展「生誕 1200 年 歌仙 在原業平と伊勢物語」

平安時代前期に活躍した在原業平（825-880）は、天皇の孫で和歌に優れた貴公子です。その「歌仙」として、また「恋多き歌人」としての人物像は、彼の和歌にくわえ、『伊勢物語』の主人公に仮託されることで拡散していきました。
2025 年は、業平の生誕 1200 年にあたります。これにちなみ、現在でも人気が高い業平と『伊勢物語』を題材に生み出された絵画・工芸等の作品を集め、そのイメージの広がりや豊かさ、造形の魅力を探ります。

会 場 図



中央区日本橋室町 2-1-1 三井本館 7 階
☎ 050-5541-8600（ハローダイヤル）

◆クラシック音楽講座 知識ゼロから楽しむクラシック

主 題 クラシック音楽というと、とかく「難しいもの」「勉強が必要」と考えられがち。でも、「音楽」とは「音を楽しむ」もの。コンサートで、CDで、動画で、クラシック音楽を楽しむためのちょっとしたコツや楽しみ方をご案内。また、親子やファミリーでクラシック音楽に親しむ方法もご紹介します。併せて、「これを知っているとよりクラシックが面白くなる」というトリビアもご紹介します。第2回はヴァイオリニストの成田達輝さんをお迎えして、演奏家の視点からのお話や、最終回のコンサートに向けての簡単な予習も行います。そしてお待ちかねの最終回は、実際に第一生命ホールで行われる成田さんと萩原麻未さんによるヴァイオリンとピアノの名曲を集めた1時間のコンサートを楽しみます（未就学児の入場は不可）。
※最終回の鑑賞も含めて、全回出席できる方が対象です

講座番号 ③－１１

時 間：午後2時～4時

※第3回は午後2時～3時

場 所：アートはるみ「ギャラリー」

※第3回は第一生命ホール

回 数：3回

受講料：900円

鑑賞料：一般3,000円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	10/11（土）	1人で、グループで、ファミリーで！クラシック音楽を楽しむコツ	室田 尚子
第2回	10/25（土）	音楽家大解剖！ヴァイオリニスト成田達輝にとって音楽とは？	室田 尚子 ゲスト：成田 達輝
第3回	11/ 1（土）	公演鑑賞（約1時間） ごほうびクラシック 第15回 成田達輝&萩原麻未 ヴァイオリン&ピアノ デュオ・リサイタル 【曲目】エルガー：愛のあいさつ / クライスラー：美しきロスマリン / ドヴォルザーク：4つのロマンティックな小品 Op.75 より 第1曲 / サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン ほか	

講 師 紹 介

室田 尚子（むろた なおこ）

音楽評論家。東京藝術大学大学院修士課程（音楽学）修了。東京科学大学、昭和音楽大学講師。NHK-FM「オペラ・ファンタスティカ」レギュラー・パーソナリティ。オペラを中心に「音楽の友」「ぶらあぼ」「The Atre」（新国立劇場）などでインタビューやエッセイなど多数。著書に『オペラの館がお待ちかね』（清流出版）ほか。

認定 NPO 法人トリトン・アーツ・ネットワークとは

音楽活動を通じて地域社会に貢献する認定 NPO 法人。晴海トリトンスクエア内にある第一生命ホールを拠点とし、ホールの主催公演である芸術活動と、周辺地域を中心としたコミュニティ活動を2本の柱として、会員とサポーター（ボランティア）、寄付者の支えを受けて実施している。

成田 達輝（なりた たつき）

ヴァイオリニスト。ロン＝ティボー国際コンクール（2010）およびエリザベート王妃国際音楽コンクール（2012）にてそれぞれ第2位。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に「パガニーニの再来」とフランス紙で評された。著名指揮者およびオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。使用楽器は、A. ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製（宗次コレクションより貸与）。

第3回会場



中央区晴海1-8-9 第一生命ホール

連携講座

③－12【三重テラス】

定員 50 名

◆伊勢神宮の式年遷宮の魅力

主 題 紀伊半島の東に位置する三重県。みなさんはどのようなイメージをお持ちですか？忍者、海女、熊野古道、真珠、松阪牛・伊賀牛、伊勢えび、あおさ、伊勢うどん…。

この講座は、三重県が三重の豊かな自然・歴史・文化・食などさまざまな魅力発信と交流の場として日本橋室町に設置している三重テラスとの連携講座です。

海、山、川の美しい自然の中で、農業や林業、漁業が盛んに行われている三重県の歴史や文化、伝統など、たくさんの魅力を学びましょう。

今回の連携講座では、伊勢神宮をテーマに 2025 年から始まる 20 年に一度の神宮式年遷宮についてお届けします。

講座番号 ③－12

時 間：午後2時～3時30分

場 所：三重テラス2階コミュニティスペース
(YUITO ANNEX 2階)

回 数：2回

受講料：600円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	12/12（金）	神宮式年遷宮の意義と歴史	千種 清美
第2回	1/ 9（金）	遷宮諸祭の御木曳を中心に～令和8年の見どころ	

講師紹介

千種 清美（ちくさ きよみ）

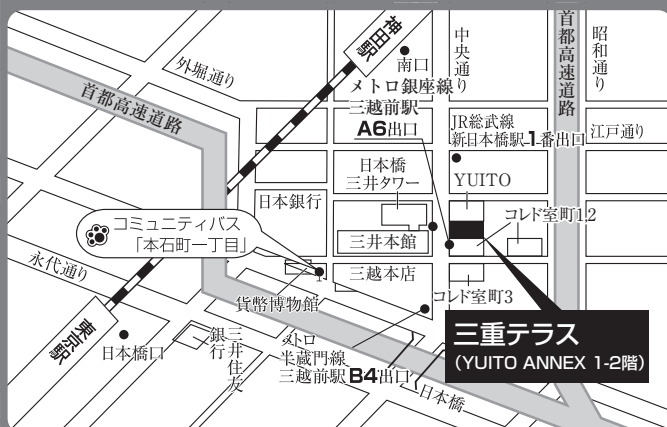


文筆家。皇學館大学非常勤講師。三重県津市生まれ。NHK津放送局 630 ニュースアシスタント、三重の地域誌「伊勢志摩」編集長を経て文筆業に。東海道・山陽新幹線車内誌「月刊ひととき」に「伊勢、永遠の聖地」を8年間にわたり連載。伊勢神宮の式年遷宮（第61、62回）を2度にわたり取材を行い、第62回では遷宮諸祭を別宮まで撮影し、遷御の儀では式年遷宮広報本部によるインターネット動画配信の司会進行を担当。伊勢神宮、祭り、歳時記、食文化など日本文化についての講演や執筆活動を行う。近著に『伊勢神宮式年遷宮参拝ガイドブック』（ワニブックス）をはじめ、『永遠の聖地 伊勢神宮』（ウエッジ）、『女神の聖地、伊勢神宮』（小学館新書・全国学校図書館協議会選定図書）など。三重県観光審議会委員、三重県文化振興計画会議座長を務める。祭祀舞教室「千の会」代表として祭祀舞の指導を行う。



現在の外宮正宮の隣の新御敷地

会場図



中央区日本橋室町2-4-1
YUITO ANNEX 1F・2F

連携講座 ③－13 【一般社団法人 日本橋浜町エリアマネジメント】

定員 30 名

◆ナウマンゾウの化石「浜町標本」を学ぶ

主 題 1976 年に都営新宿線「浜町駅」工事中に発見されたナウマンゾウの化石「浜町標本」。同一個体の頭蓋、体幹、四肢の全骨格が発見されている学術的価値の高さについて学ぶとともに、「浜町標本」を題材にした創作落語や「ナウマンゾウ」の声帯模写を聞くことを通じて、楽しみながら地域の歴史を学ぶ講座となっています。

講座番号 ③－13

時 間：午後2時～3時30分

場 所：浜町メモリアル
4 階会議室

回 数：4 回

受講料：1,200円

回数	日程	講 義 内 容	講 師 名
第1回	1/17（土）	海辺で化石となったゾウ「ナウマンゾウ浜町標本」	高橋 啓一
第2回	1/31（土）	日本を代表するナウマンゾウ「浜町標本」と野尻湖ナウマンゾウ	近藤 洋一
第3回	2/14（土）	声帯模写で学ぶ「ナウマンゾウ」	江戸家 まねき猫
第4回	2/28（土）	落語で学ぶ「浜町標本」	三遊亭 朝橘

講師紹介

高橋 啓一（たかはし けいいち）

滋賀県立琵琶湖博物館名誉館長。大学時代から日本橋浜町のナウマンゾウに携わる。日本歯科大学、滋賀県教育委員会博物館開設準備室を経て、1996 年 4 月より琵琶湖博物館勤務。2019 年 4 月館長に就任。2024 年 4 月より名誉館長。その他、名古屋大学博物館研究協力員、中国雲南大学客員教授、国際湖沼環境委員会理事、国際マンモス学会科学委員、正倉院宝物調査委員などを歴任。

近藤 洋一（こんどう よういち）

長野県信濃町立野尻湖ナウマンゾウ博物館館長。野尻湖ナウマンゾウ博物館開館当時から学芸員として勤務。2016 年館長に就任。学生時代から野尻湖発掘に携わり、現在野尻湖発掘調査団の事務局を担当する。専門は、古脊椎動物学、第四紀学、日本各地のナウマンゾウの研究や古型マンモスの研究もすすめている。共著に『一万人の野尻湖発掘』（築地書館）など。

江戸家 まねき猫（えどや まねきねこ）

寄席芸人。公益社団法人落語芸術協会会員。三代目江戸家猫八の娘として中央区に生まれる。120 年以上続く江戸家の歴史の中で、唯一の女性の動物ものまね芸人。都内の各定席をはじめとする寄席の高座に動物のものまね芸で出演している。その他、女優、ナレーター、レポーター、ラジオパーソナリティとしても活動。

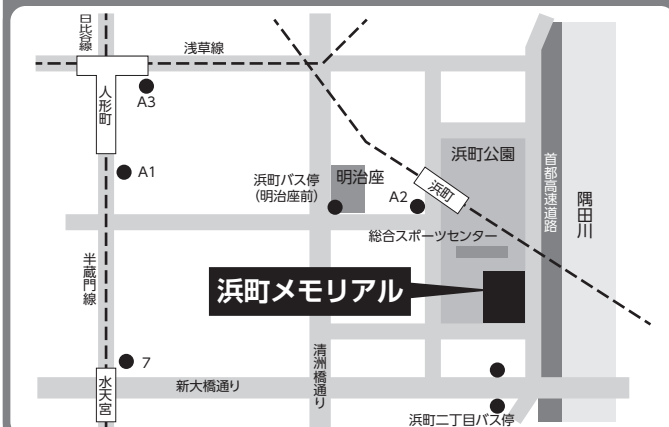
三遊亭 朝橘（さんゆうてい ちょうきつ）

落語家。2005 年、六代目三遊亭圓橘に入門。前座で研鑽を積み、2008 年 9 月に二ツ目昇進。永谷商事が両国で運営する多目的ホールのお江戸両国亭において定期的に開かれる円楽一門の定席「両国寄席」で修行を積む。2015 年、前橋若手落語家選手権（第 7 回）優勝。2016 年、さがみはら若手落語家選手権（第 15 回）準優勝。2017 年、真打に昇進し「朝橘」と改名。

（連携先紹介）一般社団法人 日本橋浜町エリアマネジメントとは

日本橋浜町界隈をより魅力的なまちにしようと 2020 年 4 月に設立。町会・商店街・企業・住民と連携しながら、まちの価値向上・活気あふれる地域活動の推進及び支援を目的に「浜町マルシェ」「浜町きれいプロジェクト」「地域おこし人サミット」など、交流促進やまちの環境整備、プロモーション活動を行っています。

会場図



中央区日本橋浜町2-59-48

連携講座 ③－14 【早稲田大学エクステンションセンター】

定員 30 名

◆江戸文化入門—お江戸日本橋の姿

主 題 日本橋は昔も今も江戸・東京の中心地です！江戸の街のシンボルで、大河ドラマ「べらぼう」の主人公・鳶屋重三郎の店もありました！今も日本国道路元標があります。本講座では「お江戸日本橋」とその周辺の姿を、浮世絵などを通して皆様と楽しく学びたいと思います。浮世絵や江戸の書物の原物を見ながら、くずし字にも触れて、しばし江戸の世界にタイムスリップいたしましょう！！

講座番号 ③－14

時 間：午前10時40分～12時10分

場 所：早稲田大学日本橋キャンパス

回 数：5回

受講料：3,500円

講 師 紹 介

深谷 大（ふかや だい）

早稲田大学演劇博物館招聘研究員。専攻は江戸時代を中心とした日本文化（芸能・文学・美術）。横浜国立大学等で講師を務める一方、各種の展覧会の企画・制作に携わり、テレビ・ラジオ番組に協力・出演している。著書に『岩佐又兵衛風絵巻群と古浄瑠璃』（ぺりかん社）、『さし絵で楽しむ江戸の暮らし』（平凡社新書）などがある。

連携講座 ③－15 【早稲田大学エクステンションセンター】

定員 30 名

◆ウクライナ戦争と米中露関係

主 題 第二次世界大戦後欧州最大の地上戦となったロシア・ウクライナ戦争は、ウクライナに巨大な被害をもたらし、国際秩序を大きく揺るがせました。ウクライナ侵略は「プーチンの戦争」であり、ロシアが失ったものも大きいです。ウクライナ戦争を総括し、米中露の複雑な関係、北朝鮮軍の参戦など戦争が東アジアに及ぼす影響も考察します。

※世界情勢の変化によって、講座内容が変更になることがあります。

講座番号 ③－15

時 間：午後1時10分～2時40分

場 所：早稲田大学日本橋キャンパス

回 数：5回

受講料：3,500円

講 師 紹 介

名越 健郎（なごし けんろう）

拓殖大学客員教授。1953年岡山県生まれ。東京外国語大学卒。時事通信社入社後、バンコク、モスクワ、ワシントン各支局勤務、外信部長、仙台支社長を経て退社。拓殖大学教授、国際教養大学特任教授を経て、現在は拓殖大学客員教授。著書に『ゾルゲ事件 80年目の真実』、『独裁者プーチン』など。

回数	日程	講義内容
第1回	10/ 6（月）	ウクライナ戦争の総括
第2回	10/20（月）	ウクライナの歴史と未来
第3回	10/27（月）	「プーチンの戦争」のバランスシート
第4回	11/10（月）	トランプとNATOの戦略
第5回	11/17（月）	ウクライナ戦争と東アジア

◆『秀吉事記（天正記）』を読む

主 題 豊臣（羽柴）秀吉の御伽衆だった大村由己の著した『秀吉事記（天正記）』をもとに、秀吉の天下統一過程を検証します。織田信長の家臣時代の三木合戦に始まり、山崎、賤ヶ岳、紀州、四国、越中、小田原攻めといった合戦だけでなく、関白任官・聚楽第行幸といった天皇権威の利用も詳しく記されています。秀吉の自己PR 作品ですが、リアルな秀吉の姿が浮き彫りになります。

講座番号 ③－16

時 間：午後1時10分～2時40分
場 所：早稲田大学日本橋キャンパス
回 数：5回
受講料：3,500円

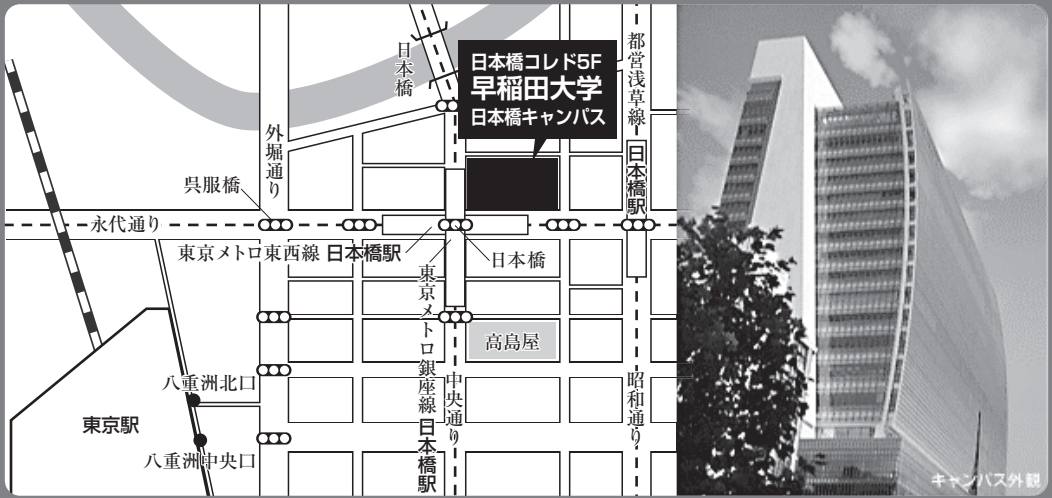
講 師 紹 介

堀 新（ほり しん）

共立女子大学教授。1961 年岡山県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学。博士（文学）。専門分野は日本中世・近世史。著書に『織豊期王権論』（校倉書房）、『天下統一から鎖国へ』、『信長公記を読む』（吉川弘文館）、『秀吉の虚像と実像』（共編著）（笠間書院）などがある。

回数	日程	講 義 内 容
第1回	10/ 8（水）	大村由己『秀吉事記（天正記）』について、冒頭の「播磨別所記」について
第2回	10/22（水）	続く「惟任謀叛記」「柴田合戦記」について
第3回	11/ 5（水）	続いて「紀州御発向記」「四国御発向并北国御動座記」について
第4回	11/19（水）	続いて「関白任官記」「聚楽行幸記」について
第5回	11/26（水）	最後の「小田原御陣」について、まとめ

会 場 図



中央区日本橋1－4－1
日本橋一丁目ビルディング5階（コレド日本橋）